



●病院理念●

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。

ホームページ <https://hospital.ompu.ac.jp>

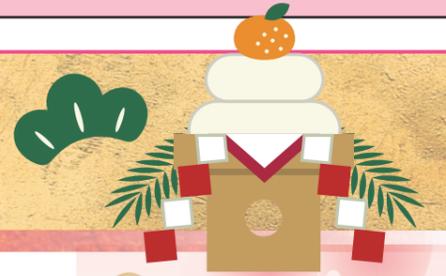
病院ホームページ



発行  
大阪医科薬科大学病院



## 謹賀新春



### 新年のごあいさつ

病院長 南 敏明



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本院の2021年の大きな出来事は、2021年4月1日に大阪医科大学と大阪薬科大学が統合し、大阪医科薬科大学となったことです。これにより、本院も大阪医科薬科大学病院に名称を変更致しました。

2021年も新型コロナウイルス感染症に終始した一年となりました。今までは少しでもいつもと違いがあれば健康診断を受けたり、診療所・病院を受診したりしていたと思いますが、最近特に、症状が明らかに進行し、いきなり外来を紹介受診されて拡大手術になる患者さんが急増しています。読売新聞の調べでは、全国のがん拠点病院の80%でコロナ禍によりがん手術件数が減少しています。コロナ禍でがんなどが減少したのではなく、症状がない、もしくは少しの症状の早期がんを診断される機会が減少し、進行がんになって初めて病院を受診され手術になっています。いわゆる受診控えです。本院では2021年7月9日に病院ホームページに「本院を受診される皆様へ～新型コロナウイルス感染症対策の徹底について～」、2021年9月10日にも「本院を受診される皆様へ～安心してご来院い

ただために～」を掲載し、安心して受診していただけるように広報を致しました。さらに、たかつきDAYS(広報たかつき)10月号から半年間、大学連携コラムドクターが診る健康相談室で「新型コロナで早期治療を逃さないために」を担当させていただいています。早期に適切な治療を受けていただくためにも、受診のタイミングを逃さないよう、気になる症状がありましたら早目に受診していただきますようお願い申し上げます。

2021年3月10日から本院職員に対して新型コロナウイルスワクチン接種を開始しました。6月5日から本院は大阪府・高槻市・茨木市・関西大学および立命館大学からの新型コロナワクチン集団接種に係る医療従事者派遣要請により、職員を派遣致しました。現在、本院職員全体の98%がワクチン接種を完了しており、クラスターを発生させることなく感染防止対策に万全を尽くしておりますので、安心してご来院ください。なお、2022年1月10日(月・成人の日)は通常通り開院いたします。休日ですので、少しでも気になることがあればご利用しやすいかと存じます。

この原稿は新型コロナウイルス感染症の第5波が落ち着いた状況下で作成しています。今から考えると、大阪府においてはゴールデンウィーク中の第4波が一番大変な新型コロナウイルス感染症対応になっていたと思われます。そのような間も循環器疾患や脳神経疾患の対応ホットラインは受け入れを継続し、三島医療圏における「最後の砦」を死守致しました。

2027年に迎える大阪医科大学創立100周年記念事業、病院新本館建築は「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げて、病院新本館A棟の工事が順調に進行しているところです。病院新本館A棟開院に向けた移転作業のため、2022年6月18日(土)と7月2日(土)を休診いたしますのでご注意ください。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。



### 謹んで 新春のご挨拶を 申し上げます。

看護部長 中山 サツキ



昨年もコロナ禍の猛威が続き、対応に明け暮れた1年でした。緊急事態宣言の発出がたび重なり、旅行や外食の自粛、オリンピックも無観客開催を強いられるなど、私達の生活は大きな制限を受けました。

そのようなコロナ禍において、当院は高度医療を提供する大学病院としての役割が果たせるよう努力を積み重ねてまいりました。医療崩壊の危機が叫ばれる中、コロナ重症患者さんの受け入れを継続し、大阪コロナ重症センターへの看護師派遣を実施いたしました。派遣した時期は医療者もワクチン未接種であったため、感染のリスクが非常に危惧される状況でしたが、延べ10名の看護師が自ら希望し現場に赴いてくれました。

感染防止対策の実施につきましては、患者さんやご家族の皆様に一昨年

継続してご不便をおかけいたしました。殊に入院中の皆様には、面会制限・禁止等、不安や寂しさを抱えられている中で多大なるご協力をいただきました。改めて心から感謝を申し上げます。

さらに市民の皆様からはコロナ禍の初期より、私ども医療従事者に温かい励ましご支援を頂きました。そうしたお気持ちに少しでもご恩返しができるかと、昨年の6月から休日を活用し、ワクチン接種の有償ボランティアに参加させていただいています。医師・薬剤師と共に、450余名の看護師が現在も継続して活動しております。

さて、こうして迎えた令和4年は「寅(とら)」年ですが、寅には「延ばす」という意味があり、寅年は芽を出したものが成長していく年と言われています。世界的に見ればワクチン接種に国ごとの格差があり、コロナ禍の収束の見通しは未だ予断を許しませんが、幸い我が国においてはワクチン接種者が増加し感染状況は小康状態となっています。芽生えた希望がふくらみ、日常生活が少しでも過ごしやすくなる年になることを願ってやみません。

また、本年は新病棟の建物も完成し、7月からは三次救命救急センターもオープン予定です。病院としても新たな機能を担って、一層の発展が期待される年であると思っております。たとえ予測し得ない困難に見舞われたとしても、病院職員一同、一丸となって患者さんの心に寄り添う医療・看護が提供できるよう「医療者としての本分」を尽くすべく、前を向いて進んでまいりたいと思っております。

本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。

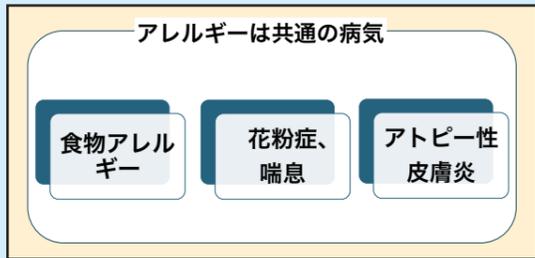


# ● アレルギーセンター開設のお知らせ ● センター長 寺田 哲也



皆様、こんにちは。アレルギーセンターをこの度開設いたしました。センター長の寺田と申します。花粉症やぜんそく、アトピー性皮膚炎などが、よく似た理由で起こる共通点を持った病気であることをご存知でしょうか。これらの疾患は、『タイプ2炎症性疾患』などと、ひとくくりにして呼ばれる場合がございます。「むむ？、タイプ2炎症性疾患とはなんぞや？」知識欲が旺盛な皆様は気になるところかもしれません。この『タイプ2炎症とは何か？』に始まり、種々の疑問に対する情報発信をアレルギーセンターのHPを通じて、行っていきますので期待しておいてください。

アレルギーは、いくつかの病気を同時に持つことが多く、また幅広い年齢層に渡るため、ひとつの診療科だけでは無く、複数の診療科で診察や治療を行うことが大切であり、そこに、このアレルギーセンターの開設理由がございます。



アレルギーセンターは、呼吸器内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科の各診療科のアレルギーを専門とする医師、加えて、専門性を持った看護師、薬剤師、栄養士、検査技師からなる専門医療チームです。気道チーム、小児チーム、皮膚感覚器チームの3つのコアチームを編成しました。

今後、市民の方を対象とした講習会を充実させたいと思っています。喘息患者に対する吸入指導や、食物アレルギー患者への栄養指導からアナフィラキシーに対するエピペン講習会など、座学のみならず実習形式の講習会を企画し、地域医療を担う開業医の先生ともチームを組み、アレルギー疾患に苦しむ地域の住民の方のお役に立てる様、頑張りますので、よろしくお願いたします。



**看護師からのひとこと** 小児チーム小児看護専門看護師 水島 道代 —— アレルギーは、食事や活動に影響を及ぼし、子どもにとっては健やかな成長発達のために家庭や社会生活で様々な管理が必要となる疾患です。アレルギーの管理での悩みや、日々の困りごと、生活の工夫、就学での学校や地域との調整や子ども自身での管理の方法など何でもご相談ください。アレルギー疾患をもつ子どもと、ご家族の支援ができればと考えています。

## 栄養士によるおすすめレシピ / みそ豆乳鍋・生姜スープ

● **みそ豆乳鍋** ● (1人前スープの栄養量: 122kcal たんぱく質: 8.4g 食塩: 3.4g)

**材料 (約4人前)**  
 豆乳: 600g (約3カップ)  
 A/味噌: 90g (大さじ5)、鶏ガラスープ: 5g (小さじ2)、みりん: 20g (大さじ1)、水: 1200cc (6カップ)  
**おすすめの具材** / 豚肉、鮭、豆腐、油揚げ、きのこ類、白菜、白ネギ、水菜、メに中華麺  
**作り方** / 1. Aを合わせ火の通りにくい食材から煮る (※鮭は霜降りしておく方がよい)  
 2. 火が通ったら豆乳を加え保温程度の火加減にしておく (加熱し過ぎるとたんぱく質の凝固作用で豆乳の成分が固まります)



**おすすめポイント**

- ・豆乳鍋はいつもの材料で手軽に作ることができます。
- ・この方法で作ると市販のものより約40%塩分カットできます。
- ・味噌を控え七味やねりごま、ごま油などを入れるとさらに減塩が可能です。
- ・味噌とみりんを白味噌に変えても美味しいです！

● **生姜スープ** ● (1人分: 24kcal、塩分: 0.9g)

**材料 (4人分)**  
 乾燥ゆば: 6g、たまねぎ: 1/4玉 (50g)、青ねぎ: 適量、おろし生姜: 8g、  
 食塩: 少々、コンソメ: 6g (小さじ2)、片栗粉: 適量、お好みで針生姜、水: 500cc  
**作り方** / 1. 水で玉ねぎを軟らかく煮る 2. 調味料を入れる  
 3. ゆばを入れ片栗粉でとろみをつけ塩で味を調える 4. お好みでねぎと針しょうがを入れ出来上がり！



こちらもおすすめ！  
 病院でも提供している一品です。

**おすすめポイント**

生姜の成分で身体が温まるのと、片栗粉でほどよくとろみをつけて冷めにくくすることがポイント

## 「大学病院新本館」建築ニュース

病院新本館(A棟)の建築工事が順調に進んでいます。躯体工事が完成に近づき、7月の開院に向けて設備・内装工事が本格化してまいります。

工事期間中、皆様にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。



## 大阪医科薬科大学病院 ボランティアグループ 「ふれあい」活動報告

昨年来のコロナ禍において、当院では感染対策室の指導の下、エコキャップ、季節の飾り、グリーン、および縫製のボランティア活動をしてきました。

また、病棟でご利用いただく新生児用のおしめ、乳房パッド、および医療用帽子や新型コロナウイルス感染症に罹られた妊婦さんが退院される際に贈呈する折り紙の花束などをボランティアの皆さんが作成いたしました。

10月1日に緊急事態宣言が解除された後、11月1日以降、初診案内・患者誘導および患者さん図書各グループが活動を再開しております。(病棟内での活動は引き続き休止です。)

